

視聴覚教育

NO. 315
発行日 17.9.9

発行 岡崎市AVL
編集 現場制作委員会
学習情報部

視聴覚用語

「デジタル複合機」
1台でコピー、プリンタ、スキャナなど機能を実現する機器。業務用のコピー機にプリンタ機能をつけたものや家庭用のプリンタにコピーやスキャナ機能を加えたものなどがある。

「子どもビデオ教室」

おかさき」の実施

視聴覚ライブラリー副所長補佐 宮田典彦

文部科学省では平成16年度から、未来の日本を創る子どもたちを、心豊かにたくましく育てるための環境を社会全体で整備するために、「子どもの居場所作り新プラン」を実施し、その一環として「地域子ども教室推進事業」を各地で展開しています。全国の視聴覚ライブラリー・センターで組織される全国視聴覚教育連盟もこの事業の委託を受けて、子どもメディアアフォーラム「子どもビデオ制作教室」を展開することになりました。(平成17年現在、全国18地区)

岡崎市視聴覚ライブラリーは事業初年度からその実施委託を受け、「子どもビデオ教室おかさき」として、市内小学校を会場にビデオ教室を実施しています。昨年度は、3小学校で実施しました。今年度は8小学校で実施を予定しています。

岡崎市においては、学校の休業日の一日を使って行っています。「子どもビデオ教室おかさき」の一日の流れは次のとおりです。

① ガイダンス(チーム作り等)

② ビデオカメラの使い方の実習

③ 作品コンテ作り

④ デジタルビデオカメラによる撮影

⑤ パソコンを使ったノンリニア編集

⑥ タイトル、ナレーション、音楽の挿入

⑦ 作品発表会

初めてビデオカメラに触れる子どもたちも、講師の手を借りながら、撮影から編集まで一気にこなしていきます。作品発表会では、それぞれが5分程度の番組を発表していきます。

こうして作られた子どもたちの番組は、各学校のお昼の放送や授業の中で使われています。今後は、「ふるさと岡崎メディアコンクール」の児童生徒部門に出品も進めてまいります。

本事業においては、ビデオ制作活動を通して子どもたちへの新しい体験と交流の場の創出が期待されています。加えて、岡崎市視聴覚ライブラリーにおいては、子どもたちにおける「映像」という新しいコミュニケーション技法の習得やメディアリテラシー教育への活用などの視点をもちながら、本事業を推進してまいります。



「視聴覚あれこれ」

文部科学大臣賞に輝く!!

平成17年度全国自作視聴覚教材

コンクール結果発表

今年度の全国自作視聴覚教材コンクールの結果が7月に発表された。岡崎市から出品した作品が2部門で最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞するなど、計4作品が入賞を果たすというすばらしい成果をあげることができた。なお、授賞式は9月9日に東京で行われる教育映像祭の席上で行われる。

○小学校部門(幼稚園を含む)

文部科学大臣賞(最優秀賞)

「水の大冒険―岡崎の水の秘密―」

《コンピュータソフトウェア》
岡崎市自作教材制作委員会G班

○中学校部門

文部科学大臣賞(最優秀賞)

「石にかける思い―女性石工の挑戦―」

《ビデオ》
岡崎市自作教材制作委員会C班

入選

「ホタルの舞う川」

―自然のバランスを保つには―《ビデオ》
岡崎市自作教材制作委員会D班

○社会教育部門

優秀賞

「湊(みなと)町 岡崎」

―近世の物流と矢作川―《ビデオ》
岡崎市自作教材制作委員会A班

ライブラリーだより

●横井 滋先生 おめでとーございます

平成17年度視聴覚教育功労者

文部科学大臣表彰

元岡崎市教育委員会教育長(視聴覚ライブラリー所長)の横井滋先生が、永年の視聴覚教育の充実・発展に尽くされた功績が認められ、文部科学大臣表彰を受けられました。

●第3回「ふるさと岡崎」

メディアコンクールのご案内

地域に密着した視聴覚教材の収集を充実するため、広く市民に自主制作活動を奨励し、日頃の成果を発表する場の提供として、今年度も「ふるさと岡崎メディアコンクール」を開催いたします。多くの方々の参加をお願いします。

募集期間(郵送可)

平成17年11月21日(月)～12月9日(金)

応募先 岡崎市視聴覚ライブラリー

〒441-8602 岡崎市普生町1丁目3番地1

募集部門

①生涯学習部門

②学校教育教材部門

③児童生徒作品部門

・テーマ 生涯学習の学習教材または学校教材

となるもの

・利用メディア ビデオ、マルチメディア

※詳しい募集要項や応募用紙は岡崎市視聴覚ライブラリーにあります。

□問い合わせ先

岡崎市視聴覚ライブラリー

TEL 0564(23) 6789

FAX 0564(23) 6794

実践報告

パソコンで音楽作り

梅園小学校 石川 仁志

本校では、毎週金曜日に全校で音楽集会を行っている。また、給食後の歯磨きタイムでは、クラスで自由に曲を決め、歯磨きタイムの音楽を流している。その他にも、朝や帰りの会の時間に、学級独自で歌を歌っており、学校生活の多くの時間に音楽が取り入れられている。

しかし、こうした活動で使用されている音楽は、CDなど市販の音源に頼ることが多い。歌の伴奏などもピアノを習っている特定な子たちに限られてしまうため、多くの子たちにとってこうした音楽は、与えられるものという意識が多かったように思う。

そこで、今年度は学校での活動に使用する音楽を自分たちで作ることを考え、実践を進めた。音楽の作成には、初心者でも簡単な操作で使える音楽ソフト「シンガーソングライター」を使用した。

最初に取り組んだのは、歯磨きタイムの音楽である。雑誌などの楽譜を見て音符やコードを入力し、リズムを選んで曲をアレンジした。同じ楽譜でも、アレンジの仕方ですいぶん違った音楽が出来上がった。音楽にも、その子なりの個性が出て興味深かった。

いよいよ2学期からは、自分たちの作った音楽に合わせて歯磨きが始まる。



「プロットライ」

「プログツール」の利用

最近よく名前が聞かれるようになった「プログ」。名前は聞いたことが無くても、大手のポータルサイトやニュースサイトなどで活用されているので、多くの人が気づかないうちに目になっている。

今まではホームページの更新というハイパーリンクやHTML文法を理解するかホームページ編集ソフトを使い複雑な作業が必要だった。しかし、このプログサービスを利用すれば簡単にホームページの更新ができる。たくさん登録してあるデザインの中から気に入ったものを登録しておけるので、ホームページのデザインに統一感を与えることができる。もちろん写真やイラストを登録することもできる。

初期設定後の手順は、記入用のホームページを開き、指示に従って入力し登録するだけである。面倒なリンクの設定などは自動で行ってくれる。そこで、職員室パソコンの「お気に入り」に記入用のページを登録しておけば、誰でもホームページの更新をすることが出来る。また閲覧する際にも、書かれた時期や、内容によって分類することが出来るので知りたい内容を即座に見つけることができる。

定期的な更新をするのに向いているため、学校のホームページに利用されることが増えている。岡崎市教育ネットワーク内にもプログツールの設定がある。

(六ツ美中学校学習情報主任 野中慎一)